

建築学科の教育ポリシー

人材養成の目的

建築学は「学術」「技術」「芸術」を三位一体として成立し、歴史を通じてその時代の最先端技術を駆使し、未来に向けて建築や都市を創造することにより文明・文化の発展に大きく貢献してきた学問です。建築学科では、最新の科学に基盤をおいた工学・学術知識の基礎的素養に加え、複数の条件下における柔軟かつ自由な発想、思考、創造力および具体的な「もの」や「しくみ」を作り上げる企画力・指導力を兼ね備え社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

入学者に求める能力と適性

本学科では、次のような資質と能力をもつ人材を求めます。

- ・理数分野を中心として幅広い分野について十分な基礎学力を有し、柔軟かつ自由な発想、思考、創造ができること
- ・建築・都市・社会に興味を持ち、課題に果敢に挑戦する気概、専門科目を積極的に学ぶ努力を継続できること。
- ・建築学の知見を活かし文明・文化の発展に貢献する品格を伴った志を有すること

修得する能力

本学科では、次のような能力の修得を学習目標としてします。

- ・建築学に関する研究・創作・技術開発に必要とされる理工系基礎学力と論理的思考力、基礎理論を中心とした自己修習力
- ・新分野への研究・技術開発の展開の礎となる幅広く豊かな専門的教養および高い倫理観
- ・複数の条件下において各分野の技術を駆使し質の高い建築・都市の設計、まちづくりの計画ができる、柔軟かつ自由な発想力、思考力、創造力、表現力
- ・社会と自然を正しく理解し、最新の工学・学術的知見を利用して未来の建築技術の創造に挑戦する構想力および研究・技術開発能力
- ・他者の意見を尊重し、国内外を問わず自分の意見を論理的に表現できるコミュニケーション能力と指導力

教育内容

本学科では、上記の能力を身に付けるため、次のような特徴を有する教育を行います。

A) 幅広い理工系基礎学問と技術者倫理

専門学習の基礎となる数学、物理学、化学等の理工系基礎学力の育成、実験・演習を介した基本理論の実践的教育および技術者倫理教育

B) 建築学の基礎理論

建築学の基礎理論の根幹をなす建築史、建築意匠、建築計画、建築材料構法、建築構造力学、建築環境・設備および建築生産、建築法規等の建築学基礎の教授、および実験・演習・実習を介したそれら基礎理論の実践的教育

C) 豊かな空間認識能力と発想、思考、創造力の醸成を目的とした創造性教育

空間認識の基礎となる図学関連科目、および空間創造力・表現力を醸成するための設計製図科目、造形科目教育

D) 建築学の先進理論

建築計画学、建築構造工学、建築材料工学、地震・耐震工学、建築環境・設備工学等に関する先端建築学の教授、および実験・演習を介したそれら先進理論の実践的教育

E) 先進的建築設計

優れた感性と確かな論理、最新かつ普遍的な工学に裏打ちされた建築デザインを、さまざまな条件の中より生み出し、それを高い質で表現できる能力を醸成するための実践的教育

F) コミュニケーション力

他者の意見を尊重し、国内外を問わず自分の意見を論理的に表現し、人をまとめることのできるコミュニケーション力と指導力の涵養

学位の授与方針

上記の教育内容を履修して、本学科を卒業するためには、つぎの要件を満たす必要があります。

- (1) 標準履修科目表中の科目のうち、◎印の 9 単位全て、○印 23 単位以上を含め、59 単位以上取得していること。
- (2) 卒業設計、卒業論文を含む学士論文研究 8 単位を取得していること。
- (3) 上記(1),(2)を含め 124 単位以上。

(標準履修科目表省略)